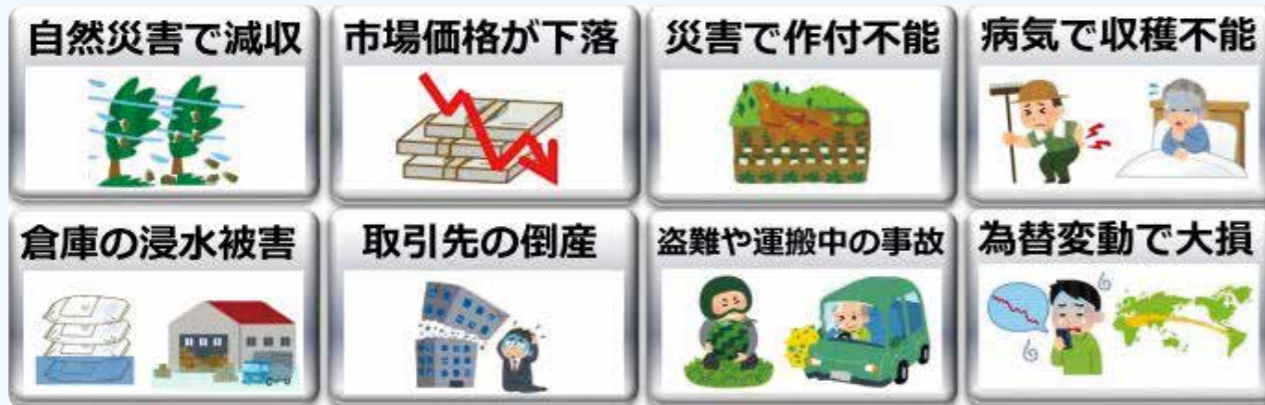


# 農業経営のリスクに備えていますか？ 収入保険がサポートします！



## 〔加入対象〕

収入保険は青色申告の実績が1年以上あれば加入できます。共済組合までご連絡頂ければ、職員が説明に伺います。また、青色申告等の必要書類を提供していただければ補償金額や掛金を試算しますので、ご相談下さい。

なお、令和3年度加入については、個人の場合は12月末が加入申請期限となりますので加入をご検討している方はお早めにご連絡をお願いします。なお、法人の加入申請期日は事業開始月日の前月末となります。例えば事業開始月日が4月1日の場合は3月31日が令和3年度の加入申請期日となります。

## 〔補償内容〕

農業者が自ら生産した農産物の販売収入（簡易な加工品（精米、モチなど）、大豆・そばの直接支払交付金を含む）が補償の対象です。過去5年の収入、対象年の営農計画から基準金額を設定します。基準金額の9割を下回った場合※は補償の対象となります。（※最高補償で加入の場合）

## 〔補償対象となるリスク〕

自然災害による収量減少、価格低下をはじめ、農業者の経営努力では避けられない様々なリスクによる収入減少を補償します。もちろん、コロナ禍による収入減少も補償の対象となります。

北秋田山本支所管内では、実際に次の様な被害が昨年ありました。

- ・水不足による生育不良（収量・品質低下）
- ・水不足のため、田植えができなかった
- ・長期入院による管理不備、収穫の遅れ（品質低下）
- ・市場価格の低下

## 〔支払実績〕

北秋田山本支所管内では、令和元年引受分で20,844,641円お支払いしました。

## 〔お問い合わせ先〕

秋田県農業共済組合 北秋田山本支所 ☎0185-54-5540



# 畑作

# 営農情報

## 白神ねぎ

### ○来年に向けた準備を!!

今年の状況は…

- ・春先温暖に推移 ⇒ 病害虫が越冬・早期発生
- ・5月の干ばつ ⇒ 活着不良・生育停滞
- ・本格的な梅雨入り ⇒ さび・べと・小菌核病・葉枯病・黒斑病多発
- ・7/下～8/上の干ばつ ⇒ ネギアザミウマの大発生（稲刈り前後も多発傾向）
- ・稲刈り以降の天候不順 ⇒ 早期からの黄色斑紋病斑発生、べと・さび病の再発

今年も天候不順に泣かされた年でした。今年の状況を踏まえ、次年度に向けた作付け計画が重要となります。

干ばつに対応するため、灌水できる圃場の選択。逆に豪雨・冠水対策として排水対策をとる。

初期の病害虫発生に対する耕種的防除として、残渣付近・越冬したねぎ付近へ植ええない、連作はしない等の配慮が必要。

一度に多量の枚数を播種しない。取り遅れしないように、ムリのない作付け計画を組む。

また、部会員向けに種子・資材・農業の予約注文書を配布していますので、病害虫対策を考慮しながら注文下さい。

## 白神山うど

### ○山うど栽培について

11月に入り山うど収穫に向けての作業が本格化します。いま一度、栽培基本技術に立ち返って作業に取り組んでいただきたいと思ひます。

#### 茎葉の刈り取り（11月中旬～）

- ・低温に遭遇し、茎葉が十分黄化して茎が空洞化した頃に茎葉の刈り取り作業を行う。枯れ上がりが遅いほど休眠覚醒までに時間を要するため注意が必要

#### 株の掘り取り（11月下旬～12月中旬）

- ・掘り取り時に土を落とし、霜害に遭わないようその日の内に搬出する。搬出後は、ジベレリンの効果を上げるため、根株の土を洗い流した後、株が白くなる程度

乾かす。

#### 掘り取った株の管理

- ・十分な低温量が確保できなければ休眠不足となり、収穫までの日数がかかったり、不揃いの要因となり収量減少に繋がってしまうため注意
- ・掘り取った株は、低温量確保のためハウス内に置かず、外に野積みしブルーシート等で覆って適温を保ち、氷点下にならないよう保管する。特に、1月出荷用の株については必ず実施する。
- ・保管する際、茎部が腐敗している株は除去する。また、品種が混ざらないよう品種区分し、野ネズミや霜害・凍害に遭わないよう注意する。

#### 伏せ込み床の準備

- ・融雪水がハウス内に入ってこないよう万全な排水対策を行う。

## 白神きゃべつ

### ○きゃべつ栽培について

加工きゃべつを栽培されている生産者は、雪が降る前に収穫し、腐らないよう保存して下さい。

12月上旬には、次年度の種子・苗の部会員用注文書が配布になりますので、次年度の経営計画をしっかりと立てながら、注文書を記入し提出して下さい。また、次年度の新規作付者も募集しています。苗の注文が12月までですので、きゃべつの作付を希望される方は早めにお知らせ下さい。

## アスパラガス

### ○アスパラガス栽培について

雪が降る前に、株の掘取りを行ないましょう。

## 土壌診断

### ○土壌診断について

水稲、野菜が終了した圃場で次年度のために土壌診断を行い、土壌の状況を把握するようにしましょう。

土壌診断の目的は、ほ場の栄養分（PH、窒素、リン酸、加里など）を把握し、その分析結果に基づいて、次年度の施肥量を決め、適正な施肥を行うことです。

土壌の採取方法は、地表面3cm程度剥ぎ取り、その下5～10cm程度垂直に掘り取ります。

圃場1箇所につき、左の5箇所を混ぜます。その土を風乾した後で、氏名、圃場番号等わかるようにして、能代、二ツ井、藤里各営農センター又は、能代市農業技術センター（52-2247）へ持参して下さい。

問い合わせ先  
能代55-0777、二ツ井73-5193、藤里79-1644

来月のあなたの運勢（2020年12月）

牡羊座（3・21～4・19） パワフルに動ける月です。目標をはっきりさせると充実度がアップ。手持ちの品のリメイクやリサイクルにもツキ